

## 2023年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
31209	日本語表現法 Study of Japanese Linguistic Expressions	河合龍二		基礎	1	選択	1・2後期

## 科目の概要

同音異義語・同訓異字語・ことわざ・慣用句・敬語などの日本語の基本的な知識を修得するとともに、原稿用紙の使い方・手紙文の書き方・要約文・作文・小論文・自己アピール文などの作成方法並びに発表の仕方を学ぶ。また、実践的課題とグループワークに取り組むことによって、正しい日本語表現力とコミュニケーション能力を身に付ける。これらの学修を通して、「建学の精神」「社会人基礎力」「pisa型学力」を育成し、柔軟な思考や独自の発想ができるようにする。

学修内容	到達目標
① 計画に沿って漢字・慣用句・敬語などを学ぶ。 ② 原稿用紙に自分の考えをまとめ、発表する。 ③ 文章を読解し、要約方法と課題解決策を考える。 ④ グループでコミュニケーションを取り、発表する。 ⑤ 具体的な場面で敬語を使用する。	① 敬語・文法・漢字・語彙の小テストで8割正解できる。 ② 要求字数の9割以上で文章をまとめることができる。 ③ 課題を発見し、その解決法を示すことができる。 ④ 話を聞き、意見を言うことで意思の疎通ができる。 ⑤ 人間関係を理解して様々な敬語を使用できる。

## 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

## 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	授業で取り組む作文演習・グループワークなどに、積極的に取り組むことができる。
	働きかけ力	
	実行力	小テストの予習・復習、授業での課題への取り組みを確実に進めていくことができる。
考え抜く力	課題発見力	文章や図表から、それぞれの課題が何であるかを発見し、確認・把握することができる。
	計画力	
	創造力	作文・小論文について、一般的・常識的見解を超えて、独自の考えを提示できる。
チームで働く力	発信力	要約・作文・小論文でまとめた内容、また、グループで話し合った内容を受講学生全体にポイントが伝わるように発表することができる。
	傾聴力	教員の講義の重点、他の学生の発表の要点、グループ内の発言の要点を的確につかみ、箇条書きでポイントを記述することができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

## テキスト及び参考文献

テキスト：毎回、教員の作成したプリントで実施する。  
 参考文献：講義中に随時紹介する。

## 他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：なし  
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
毎回配付されるプリントを熟読し、授業内容を理解するよう心がける。 随時「小テスト」(社会人として必要な日本語の知識)を実施するので予習すること。	よく聞き、考え、課題に積極的に取り組み、表現力の向上に努めること。 配付プリントは、将来に備え、各自保管しておくこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	50	①	✓	漢字・語彙・文章表現に誤りがない。 正しい手紙文を書くことができる。 課題となる長文を決められた字数で要約できる。 文章表現のポイントの読解ができ、課題点を見つけることができる。 敬語の種類・適切な使用ができる。 課題解決の問題により、pisa型学力を身に付けることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
	平常評価	小テスト	20	①	✓	授業の初めに実施する文章表現（語彙・漢字・文法・敬語等）の小テストの得点を評価に加える。
				②	✓	
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	10	①		毎回の振り返りシートを蓄積し、自らの学修を調整することができる。
				②		
				③		
				④		
				⑤		
	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	10	①	✓	誤字・脱字がなく、用語の使用が適切である。 要求字数の9割以上でまとめられている。 一文が簡潔で分かりやすい。 自らの独自の観点が示され、内容が優れている。 内容が充実してまとまりがあり、声がよく届き、分かりやすい発表である。 他の学生の発表内容を簡条書きでまとめる。 グループワークにより、テーマについて話し合い、グループの意見をまとめることができる。また、その過程で、pisa型学力を身に付けることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）小論文・作文演習などに、積極的に取り組むことができる。 （実行力）目標への取り組みを確実に進めていくことができる。 （課題発見力）文章・図表から課題を発見し、解決策を考察する。 （創造力）文章・図表を踏まえて、独自の解決策を提案できる。 （発信力）聞き手に分かりやすく、自らの考えを発表できる。 （傾聴力）他者の話を聞き、課題を考察し理解を深めることができる。 （規律性）無断遅刻、無断欠席など学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。	
			②	✓		
			③	✓		
			④	✓		
			⑤	✓		
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>Sは、作文・議論・知識などが高度な内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字がなく、要求字数の9割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、内容も的確である。演習・グループ学習とも積極的に、自己主張のみでなく、他者を配慮した議論が進められる。聞きやすく、説得力のある発表ができる。敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を9割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が9割以上である。</p> <p>Aは、Sとほぼ同様であるが、敬語の種類や漢字・慣用句などの語彙を8割以上マスターできている。・試験・小テストの正解率が8割以上である。</p>	<p>Bは、作文・議論・知識などがまずまずの内容である。具体的には、文章表現において、誤字・脱字が2か所以内にとどまり、要求字数の8割以上で要約、課題の指摘、意見表明ができる文章を作成し、ほぼ内容の過ちはない。演習・グループ学習ともよく加わり、進行に貢献する役割を果たすことができる。聞きやすく、ほぼ内容が分かる発表ができる。</p> <p>敬語の種類・語彙を7割以上マスターできている。試験・小テストの正解率が7割以上である。</p> <p>Cは、Bとほぼ同様であるが、敬語の種類・語彙を6割以上マスターでき、試験・小テストの正解率が6割以上である。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 文章表現の基礎として、原稿用紙の使い方を学ぶ。 小テストの計画・方法を確認する。 語彙力を身に付ける①	シラバスと社会人基礎力をはぐくむ学泉ノートなどを参照し、講義・演習などの授業の方法と小テスト、予習復習のための課題について説明する。 語彙力を増やすための工夫について考え、演習をする。	語彙力を身に付ける工夫を提案できる。 新聞を読めるレベルまで、自らを高めようとする意欲をもつことができる。	(復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
2	語彙力を身に付ける② 新聞を読み、日常言語と専門用語について、理解を深める。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「誤りやすい漢字」の正答率は、6割以上である。 新聞を読めるレベルまで、自らを高めようとする意欲をもつことができる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 傾聴力 規律性
3	現代に残る古語① 童謡や唱歌、ことわざや慣用句にある古語を発見し、理解を深める。	小テスト・講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する	小テスト「ことわざ、慣用句」の正答率は、6割以上である。 古語を通して日本の伝統文化や感性を知る。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
4	現代に残る古語② かるたや百人一首で古語の響きを知り、理解を深める。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する	小テスト「百人一首」の正答率は、6割以上である。 古語を通して日本の伝統文化や感性を知る。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
5	現代に残る漢語① ことわざや故事成語にある漢語を発見し、理解を深める。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「故事成語」の正答率は、6割以上である。 漢語を通して日本の伝統文化や徳性を知る。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性
6	現代に残る漢語② 歌謡曲やアニメソング等にある漢語を発見し、理解を深める。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「四字熟語」の正答率は、6割以上である。 漢語を通して日本の伝統文化や徳性を知る。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	実行力 傾聴力 規律性
7	文章表現① 手紙の書き方 手紙の形式を中心に、伝え方の工夫を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「難読語1」の正答率は、6割以上である。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	実行力 傾聴力 規律性
8	文章表現② エッセイ、韻文の書き方 創作し、発表する。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「難読語2」の正答率は、6割以上である。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	実行力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	文章表現③ 小論文の書き方 根拠を明確にして、論理的文章を書く。各自の小論文に基づきグループワークで意見交換しながら課題を確認し、ブラッシュアップをする。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「同音異義語」の正答率は、6割以上である。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 創造力 傾聴力 規律性
10	文章表現④ 批評(書評)の書き方 クリティカル・シンキングの発想で批評をする。グループワークで意見交換しながら課題を確認し、ブラッシュアップをする。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「同訓異字語」の正答率は、6割以上である。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性
11	音声表現① 朗読・アナウンスの基本を身に付ける。 発音、発声、イントネーション、アクセント等。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「敬語1」の正答率は、6割以上である。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 発信力 規律性
12	音声表現② 朗読・アナウンスの表現方法を身に付ける。 ポーズ、卓立、無声化等。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「敬語2」の正答率は、6割以上である。 朗読又はアナウンスの実践で、内容が映像として把握できる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性
13	音声表現③ 敬語表現の実践 表情や身振り手振りを含む。 訪問客や上司への応対など、具体的な場面で敬語使用法を学ぶ。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「敬語3」の正答率は、6割以上である。 相手が訪問客であったり、上司であったりと、状況に合わせて、尊敬語・謙譲語・丁寧語の敬語の使い分けができるようになる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	実行力 発信力 規律性
14	音声表現④ スピーチ原稿作成 自己の長所強調し、自己有用感をもって自己PR文を作成する。	講義・演習・グループワーク 思考ツールを用いて、ものの見方・考え方を整理する。	小テスト「敬語4」の正答率は、6割以上である。 800字の8割以上・誤字5字以内・正しい段落分けで自己PR文を作成することができる。	(予習) 事前配付プリントを熟読しておく。 (復習) 振り返りシートを基に、何が分かるようになったか、何ができるようになったかを確認する。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 規律性
15	音声表現⑤ スピーチの実践 自己の長所を強調し、自己有用感をもって堂々と自己PRをする。	自己評価、相互評価をし、教員が総合評価をする。 授業のフィードバックを行う。 社会人基礎力チェックシート・授業評価を実施する。	自己評価及び相互評価が「おおむね満足」となる。	(予習) スピーチの準備をする。 (復習) 期末試験に向けた文章表現・敬語表現・小テストの課題の総復習	90	課題発見力 発信力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力